

# づくりで企業に活力を

## ひろさき健やか企業」認定制度

ソス対策にも着手

「社屋内の禁煙には以前から取り組みたかった」と話すのは、東弘電機(須藤朗孝社長)の成田依子常務。受動喫煙なら喫煙による影響が社会的な問題となる中、「ひろさき健やか企業認定制度」への取り組みをきっかけに、これまで設けていた喫煙スペースを撤去。2年前から



社屋内禁煙を実施しているの自社ビル。エレベーターの使用も原則禁止だ。



成田依子常務

「社屋内の禁煙には以前から取り組みたかった」と話すのは、東弘電機(須藤朗孝社長)の成田依子常務。受動喫煙なら喫煙による影響が社会的な問題となる中、「ひろさき健やか企業認定制度」への取り組みをきっかけに、これまで設けていた喫煙スペースを撤去。2年前から

## 制度自体が健康の助けに

東弘電機

社屋内、全車両を禁煙化

ら社屋内の全面禁煙に舵を切った。煙に船を契機に、県が受動喫煙防止対策として施設内禁煙の事業所を認定する空気感が生まれたほか、建設業では難成田常務は「制度の認定を受けたほか、建設業では難を強調。今では、健康へ

平均寿命の全国最下位が続く本県。県をはじめ県内各自治体では、健康づくりに戦略的に取り組む企業を支援する施策を行っている。その中で、建設関連企業の認定が群を抜いているのが弘前市の「ひろさき健やか企業」認定制度。2014年の制度創設以来、2017年7月11月までに認定を受けた50社のうち、実に建設業が35社を占める。同様の制度を導入している各自治体とも、制度を支援する金融機関による認定企業およびその従業員に対する融資における金利優遇のインセンティブは同じだが、弘前市の特徴は総合評価落札方式による入れて技術評価点として加点措置を講じる点だ。このインセンティブを導入した2016年以降、建設関連企業の認定が一気に増加した。認定を受け、健康づくりに取り組んでいる建設関連企業3社に話を聞いた。(町田大祐)

弘前市では、喫煙の課題である人口減少問題に応じるために、四つの認定制度を設けており、市外からの移住、社員等の活性化を図ることで、企業が健康づくりに取り組む企業等を認定しておきます。



## 「オール弘前」で健康づくり

弘前市長 葛西憲之

中でも、「ひろさき健やか企業認定制度」は、本計画における人口減少対策の基本目標の一つとして、企業が健康づくりに積極的に取り組んでいます。そこで、企業が健康づくりに取り組む企業等を認定しておることにより、従業員の健康維持・増進を図ります。特に、建設業では、従業員が健康で働き活躍できる地域の実現を目指し、市民や民間企業等と連携協力しながら、「オール弘前体制」で健康づくり活動を推進してまいります。

## 意識向上



「オール弘前」が半年ほど前に弘前大得した。

制度創設から間もない2014年度に認定を受けた和電工業(藤田あつ志社長)が改善しようと企業認定制度への取り組みをきっかけに、それ以前から、ホームローンや教育ローンに対する優遇措置を始めました」という健康

りに取り組む恩恵を受け

「自分の身体だけは自分で守る」ということを明確に位置づけてあげることにつながりました」と語った。

### 第25号 東弘電機株式会社

認定年月日	2016年3月30日
事業内容	建設業
代表者	須藤 朗孝
健康づくりの取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■がん検診率:胃がん94%、肺がん95%、大腸がん94%、平成27年度実績)</li> <li>■建物内禁煙</li> <li>■保健師の資格を有する担当職員がメンタルヘルス相談に随時対応</li> <li>■市の健幸マイルージ制度を全従業員に勧奨</li> <li>■全従業員にインフルエンザの予防接種を勧奨</li> <li>■がん検診費用は全額会社負担。また、インフルエンザの予防接種や健康診査の要検査の病院受診は就業時間中に受診可能</li> </ul>	

## 暑中お見舞い申し上げます

平成29年 盛夏

## 快適な環境をと、ひらめいたら東弘

私たち、東弘電機は

- ビル施設から住宅
- リノン冷蔵庫からあらゆる冷蔵冷凍
- 空調工事
- 給排水衛生
- 電気工事
- リフォーム工事

様々なニーズに対応。皆様にお役に立ちたいと願っております。

弘前市移住応援企業 弘前市子育て応援企業 ひろさき健やか企業 弘前市女性活躍推進企業

ISO 14001:2004 認証取得 ISO 9001:2008 認証取得

**東弘電機株式会社**

代表取締役会長 須藤 悅 代表取締役社長 須藤 朗孝

本社／弘前市大字神田2丁目7-5  
TEL 0172-34-3865(代表) FAX 0172-34-0721

熟成酒 ZUZU ホームページ  
<http://www.toukoudenki.com>

## 建退共青森県支部からのお知らせ

「建退共」に加入されている事業所の皆様へのお知らせです

### 退職者の共済手帳の取扱いについて

- 労働者が事業所をやめるときは、やめる日までの労働日数に応じた共済証紙を貼り、共済手帳を必ずその労働者に渡してください。
- 労働者が引き続き建設業の他の事業所で働く場合には、建退共加入事業主であれば継続して共済手帳を利用できることを労働者へ伝えうえで手帳を渡して下さい。
- 建設業で働かなくなった時などは、貼付実績が12月(共済手帳1冊目が満了)以上あれば退職金を請求出来ます。  
※ただし、ご本人の請求で24月末満了の実績で請求された場合、退職金の支給額は減額されます。
- 行先等がわからず手帳を返せずに会社で保管している場合は、「手帳返納届」または「掛金助成手帳返納届」にご記入のうえ、手帳と一緒に青森県支部へ送付頂き、返納の手続きを行って下さい。

お問い合わせ先 ご不明な点などございましたら、建退共青森県支部までお問い合わせをお願いいたします。

**建退共青森県支部**

独立行政法人 労働者退職金共済機構  
建設業退職金共済事業本部(略称:建退共)

E-mail: [kentai-aomori@aokenkyo.or.jp](mailto:kentai-aomori@aokenkyo.or.jp)

TEL 017-732-6152

詳しくは [建退共青森県支部](#)



12345

健康づくりの陣頭指揮 メリットがありませんが、社員の皆さんに長く働く役目を担う私自身は以前から続けていました。大腸、肺のがん検診受診率は、社員自身で事前に受け診しているなどの特別な理由を除いては100%。今年からは胃がん検診もはじめます

先代の藤村徹会長時代から、社員の福利厚生には特に力を入れている。ラックギムみられたが今

持つ。これまでには拠点に支店秋田に営業所を設け、青森八戸・大館・仙台に同社は弘前本社のほかで、認定を受けた経緯を説明する

第45号 藤村機器株式会社

認定年月日	2017年4月28日
事業内容	管工機材卸売業
代表者	藤村 充
健康づくりの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■がん検診率：大腸がん92%、肺がん97%（平成28年度実績）</li> <li>■建物内禁煙</li> <li>■インフルエンザの予防接種を勧奨</li> <li>■精密検査等は有給休暇で受診可能</li> <li>■がん検診費用は全額会社負担</li> </ul>

## 弘前市「ひろさき健やか企業」認定制度

メ リット ク	金融機関からの借り入れ利金を償還	制度を支援している金融機関(青森銀行、みちのく銀行、東京信用金庫、青森県信用組合)が行なう企業や従業員への低利融資制度等に申込むことが可能
	総合評価落札方式で技術評価点加点	建設工事(土木一式工事、建築一式工事、電気工事、管工事)の入札で実施している総合評価落札方式による入札制度において技術評価点に加点措置

### 弘前市「ひろさき健やか企業」認定制度



## 暑中お見舞い申し上げます

平成29年 盛夏

「経営者の未来」と  
「会社の安心」のために。

会社と経営者ご自身の安心のために  
アクサの「企業経営」サポートシリーズ

ご勇退に向けての備えや在任中の万が一の事態などへの備えは万全でしょうか。

保険をくるりと変える。

AXA アクサ生命  
redefining / standards

ひきの 企業 経営	サポート シリーズ	就業不能保障プラン
ひきの 企業 経営	サポート シリーズ	98定期付終身保険
ひきの 企業 経営	サポート シリーズ	長期定期保険
ひきの 企業 経営	サポート シリーズ	適増定期保険

過去の掲載記事(1998年12月～)や、  
毎日更新！ 入札データ(1999年4月～)がそれぞれ閲覧可能！

すぐに使える！ 建通データバンク  
手帳式簡単入力

建通のN-LINE、N-EW-LINEは、開設から10年、運転の実績実績No.1。

# 特集2 経緯 社員の健康づくり

卷



藤田あつ志社長

藤田あつ志社長

2014年度に認定を受けた和電工業(藤田あつ志社長)。それ以前から、藤田社長がまずは私自身の健康を改善しようと始めたと、健やか増進リーダーの認定を受けた三浦文次総務管理部長が健康づくりに関する意識醸成を図っている。藤田社長は「社長一人でやつている」と、社長の自己満足で終わらがら、部長・課長などから発信してもらう仕組みが必要だと語る。

認定制度のインセン

2014年度に認定を受けた和電工業(藤田あつ志社長)。それ以前から、藤田社長がまずは私自身の健康を改善しようと始めたと、健やか増進リーダーの認定を受けた三浦文次総務管理部長が健康づくりに関する意識醸成を図っている。藤田社長は「社長一人でやつている」と、社長の自己満足で終わらがら、部長・課長などから発信してもらう仕組みが必要だと語る。

ついでには「従業員のマーケティングに対する意識向上」などの特別改善事項推進考課「改革や「休み方改革」「健康意識向上」などの「特別改善事項推進考課」を追加。賞与額に反映させながら、終的には社員自らが主体的に考えて自分の命を守らなければいけません。

## 賞与考課項目に『健康意識向上

第5号 和電工業株式会社

認定年月日	2016年10月28日
事業内容	電気工事業、電気通信工事業、消防施設工事業
代表者	藤田 あつ志
健康づくりの取組	<ul style="list-style-type: none"><li>■がん検診率：胃・肺・大腸・乳がん100%、子宮がん66%、(平成28年度実績)</li><li>■建物内禁煙(屋外に喫煙室を設置)</li><li>■メンタルヘルス研修会の開催</li><li>■禁煙外来は有給休暇で受診可能</li><li>■がん検診費用は全額会社負担</li></ul>



健幸増進リーダーの認定証。三浦部長が半年ほど毎週水曜日夕方に弘前大学へ通って取得した。